

プレスリリース

2019年11月13日
 公益財団法人 日本生産性本部
 経営品質協議会

第2回「経営デザイン認証」
大企業の事業部や社会福祉法人など全国の多様な22組織23認証
 ～経営設計図の「見える化」により、組織一体での生産性改革、事業承継につなげる～

日本生産性本部 経営品質協議会(代表:森田富治郎 第一生命保険 特別顧問)の経営デザイン認証委員会(共同委員長:泉谷直木 アサヒグループホールディングス 取締役会長兼取締役会議長、片野坂真哉 ANA ホールディングス 代表取締役社長)は、11月13日、第2回経営デザイン認証組織を発表しました。



本認証制度は、日本の企業、NPO等の組織が「ありたい姿」「現在の環境認識」「変革課題」等、経営の根幹を、対話を通じて「これからの経営設計図」にまとめ、「経営をデザイン」することで、生産性の改善、改革に取り組むこと、ならびに事業承継を活性化することを目的に2018年度に創設した制度です。

11月7日に開催した経営デザイン認証委員会では、審査員による認証評価結果報告を受けて、東京海上日動火災保険ディーラーカンパニーなど22組織23認証を決定するとともに、下記のような意見交換が行われました。泉谷共同委員長は、「環境変化が激しい中、様々な経営手法が出ては消えている。個別対応にならず、現場に落とし、業績に結び付けなければならない。経営者の役割は、理論を体系化、重点化し、結果としてシンプル化すること。この『経営デザイン』は経営の原理原則であり基本中の基本。混乱した現状の中、この『経営デザイン』により、経営者に夢、元気、明るさを提供したい」と語りました。片野坂共同委員長は「2年目を迎え、大企業事業部、社会福祉法人等、日本全国の多様な組織から申請いただき、広がったことを嬉しく思う。経営のメソッドを勉強して体系化し、第三者から学びを得るこの活動が、量質共に高まることで発展に寄与することを期待する」と述べました。

各委員から評価結果として、「申請組織の経営の原則の理解が進んでいる。『ありたい姿』が明確で、レベルの向上を実感する」「理念、強み、コンセプトの共有化の努力が重要で、その整理を組織的に行っている」、申請組織への今後の期待として、「全員がone teamとして役割を果たす」「三方良しに『未来良し』の視点を足す必要」「社員の成長と会社の成長を合わせていくことに悩む経営者が多い中で、社員を成長させることにこの枠組みを活かしてほしい」等の発言がありました。

なお、認証式(概要は6ページ参照)は12月19日(木)帝国ホテルにて開催しますので、ぜひ取材いただきますよう、お願いいたします。

＜経営デザイン認証制度の概要＞ 詳細 <https://www.jqac.com/management-design/> 参照

上位認証	ランクアップ認証		「ありたい姿」の達成に結びつく成果の指標、目標が見える化され、実践していると認められた企業を認証します。
認証	スタートアップ認証		「ありたい姿」「現在の環境認識」「変革課題」を組織として見える化できていると認められた企業を認証します。

＜経営デザイン認証委員会＞

共同委員長	アサヒグループホールディングス	取締役会長兼取締役会議長	泉谷直木氏
共同委員長	ANAホールディングス	代表取締役社長	片野坂真哉氏
委員	キヤノンマーケティングジャパン	代表取締役社長	坂田正弘氏
委員	こうほうえん	理事長	廣江研氏
委員	第一生命保険	代表取締役会長	渡邊光一郎氏
委員	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	代表取締役社長	村林聡氏




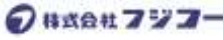

【お問い合わせ先】(公財)日本生産性本部 <経営品質協議会サイト <https://www.jqac.com/>>
 内容について: 経営品質協議会 塩見・橋本/Tel: 03-3511-4017 / e-mail: jqa-info@jpc-net.jp
 取材について: 広報担当 渡邊(裕)/Tel: 03-5511-2030 / e-mail: yuko.watanabe@jpc-net.jp

<第2回経営デザイン認証組織> 22組織23認証

上位認証(ランクアップ認証) 17 組織認証(組織名 50 音順)

組織名	所在地・業種・創業・売上・社員数	強み
 株式会社井上カーグウド	大阪府・自動車用品卸 1980年・30.3億・162人	オートバックスFC内トップクラスの顧客満足度、国内初「自動車用品量販店併設整備工場認証(TUV認証)」取得
 株式会社内海機械	広島県・機械製造 1972年・1.6億・13人	多品種・小ロットのオーダーメイド品を短納期で製造する「多能工」社員育成の仕組み
 ANA テレマート株式会社	東京都・情報通信 1987年・67.9億・1148人	「みんなを幸せにするマーケティングセンター」を目指し、顧客志向とチームスピリットを「財産」と考え、高度な顧客対応力を発揮
 株式会社オオクシ	千葉県・理美容 1964年・17.5億・185人	フイロワイヤーをベースに徹底したマーケティング分析、石垣型組織による社員に寄り添う仕組みで業界最大の再来店率
 株式会社金沢シール	石川県・印刷(シール・ラベル) 1935年・25.1億・170人	シール・ラベルを通じた顧客との共創による「生きた商品」づくりの実践と、それを支えるタテ・ヨコの質の高いコミュニケーション、対話
 社会福祉法人成光苑 介護事業部門	大阪府・介護 1950年・49.3億 介護 726人	福祉業界の範となる進取の取組み、多様な地域ニーズに応え、喜び生むワンストップサービス提供
 社会福祉法人聖綾福祉会	大阪府・介護 1996年・13.8億・172人	スーパーホテルグループの強みを活かした介護の提供とそれを支える人のコミュニケーション
 損保ジャパン日本興亜保険 サービス株式会社	東京都・損害保険代理 1989年・119億円・1478人	お客様ニーズを深掘りした先進サービス開発、損保代理業唯一の全国均一サービス提供体制の構築
 株式会社電建	兵庫県・電気工事 2008年・1.6億・6人	共通の価値観、知恵持つ社員と「お客様のラインを止めない電建クラブプレミアム」等の価値提供
 東京海上日動火災保険株式会社 ディーラーカンパニー	東京都・損害保険 1879年・5308億・2000人	全ての部店、課支社等でマネジメント診断シートを活用し、顧客等の把握と次世代へ引き継ぎたい文化や変えてはいけない価値観を共有
 株式会社東具	大阪府・広告代理 1991年・36.4億・176人	ショールーム全公開という独自コンセプト、品質特化型の物流センターを活かした価値づくり
 日本興機株式会社 玲・彩ホテルズ	滋賀県・宿泊(ホテル) 1968年・2.5億円・50人	ドミナントの小規模ホテル展開、社員とその家族の幸せを目指し、価値あるスターのステージを築く
 株式会社日本動物医療センター	東京都・獣医 1966年・7.1億・54人	当直ではない独自の月夜勤シフトで24時間看護体制の実現、ご家族の心と動物との関係性や歴史に寄り添った対応
 日本ワキコ株式会社	大阪府・部品製造 1926年・8.6億・55人	挑戦を重ね、アルミコンロッド専門メーカーとして独自性を築き、顧客と直接取引できるTier1サプライヤー
 毎日興業アリーナ久喜	埼玉県・建物総合管理 1973年・1.6億円・35人	個人利用に焦点を当て、地域住民のニーズを起点に毎日興業全体のノウハウを活かした企画運営
 株式会社的場製館所	東京都・食品製造 1924年・20.6億・105人	個人の思いと会社の思いを重ねる面談、共通認識と信頼関係あるチームが開発した50種以上の館
 丸由工材株式会社	東京都・高圧ガス溶接材料卸 1941年・22.8億・41人	変化に強い事業ポートフォリオ、長年取引してきた製造業の顧客からの信頼

認証(スタートアップ認証) 5組織6認証

組織名	所在地・業種・ 創業・売上・社員数	強み
 伊部株式会社	大阪府・アパレル卸 1921年・8.75億・43人	マルチイフを志向するプレステージ顧客をもてなすスタッフの育成
 社会福祉法人クムレ 倉敷拠点 水島拠点	岡山県・介護・保育等 1955年・19.2億 倉敷拠点 216人 水島拠点 168人	倉敷拠点：多様な生き方を認め地域の繋がりや参加を支える、チームアプローチによる支援体制作り 水島拠点：保育・発達・相談事業所と地域の連携・協働による切れ目のない子育て支援拠点作り
 株式会社国際協力 データサービス	東京都・情報通信 1990年・4.6億・35人	国際協力事業のIT・WEBシステムの理解と新規顧客開拓へ向けた理念ベースの組織改革
 株式会社フジコー	茨城県・住設機器・建材卸 1972年・59.5億・100人	パートナーとの協力による顧客工務店の売上貢献と付加価値の増加
 社会福祉法人美芳会 養護老人ホームするが荘	静岡県・介護 2015年・2.0億・27人	入居者のボランティアクラブ化による社会参加、働きやすさの外部認証

<第2回 経営デザイン認証式> (概要は6ページ参照)

1. 日 時:2019年12月19日(木)10:15-11:30 (於 帝国ホテル本館4階「桜」の間(千代田区内幸町1-1-1))
2. 内 容:挨拶(経営品質協議会代表、経営デザイン認証委員会共同委員長、認証組織代表者)、認証状授与

<主なご出席者(予定)>

認証組織代表者 オオクシ 大串 哲史 社長、東京海上日動火災保険 福田 安展 専務執行役員 他
 経営品質協議会代表 森田 富治郎 氏(第一生命保険特別顧問)
 経営デザイン認証委員会共同委員長、経営品質協議会副代表
 泉谷 直木氏(アサヒグループホールディングス会長)、片野坂 真哉 氏(ANAホールディングス社長)
 経営デザイン認証委員会委員、経営品質協議会幹事
 坂田 正弘 氏(キヤノンマーケティングジャパン社長)、廣江 研 氏(こうほうえん理事長)、
 渡邊 光一郎 氏(第一生命保険会長)、村林 聡 氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング社長)

<経営デザイン認証 申請動機と主な取り組み・期待効果>

申請動機	取り組み・期待効果
経営の見える化 社会的認知	<ul style="list-style-type: none"> ・単年度・数字積上げ型計画の会社に、あるべき姿から逆算する経営デザインが有効。 ・中小零細企業経営者は、全てを担う自覚が強ければ強い程、経営を振り返り分析する機会が少なく感じる。経営の発展を目指すには、右腕となる幹部の理念理解の深化が不可欠。経営デザインにより、理念浸透、ビジョンに向かう力を強め、第三者理解が広がる。
経営改善、革新 アイデアの獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいこと、そのためになすべきことを整理。社内外に一貫性をもって伝えることができるようになった。顧客理解が課題として明らかになり、幹部と話し合う場を新設した。
付加価値、 生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・部店長、課支社長が3～5年で異動する中、年度および中期計画の「本質」が十分に継承されているとは言えない状況の中、経営デザインにより、生い立ちを踏まえ、事業の「本質」を示した。テクノロジーの進化、マーケット、事業環境の影響、全社経営方針変更にもブレることのない羅針盤となる。 ・ボトムアップで議論、作成した経営デザインとトップダウンで策定した中期経営戦略をしっかりと関連づけて活動を行う観点で今後に向けてとても有効な経験となった。 ・今後、顧客、社員と、価値観、考え方を共有し、価値創造の対話ツールとして活用する。
経営・事業承継 次世代幹部育成	<ul style="list-style-type: none"> ・創業者の決意と今日までの自社の歩みの中で続けてきた「革新」がわが社の社風と考え、今後も全社員で継続すべき目標が得られた。 ・あえて、現社長が入らず、次世代幹部で経営デザインに取り組んだ。次世代幹部の気付きと目線が経営レベルに上がっており、次世代幹部への接し方を変えて、経営を推進していく。

<第2回 経営デザイン認証 応募および審査の概況>

1. 審査（認証）

日本経営品質審査員経験者から構成される審査チームが、書類審査を行い、申請組織代表者へのインタビューによる審査を実施。審査終了後書面にて強みと実行計画へのアドバイスからなる「レポート」を提供。

(1) 対象

あらゆる形態の法人（除、医療機関）※医療機関は「JHQC クオリティクラス認証」にて申請審査

※事業所、支社、支店、工場、部門等の単位での申請可能

※2020年度より「JHQC クオリティクラス認証」を日本経営品質賞、経営デザイン認証に統合するため、医療機関からの申請をお受けする予定です

(2) 審査スケジュール

①申請書提出（9月13日（金）） ※作成支援として開催の「経営デザイン研修」参加組織 12組織
申請数 22組織 23申請（ランクアップ認証17、スタートアップ認証5（6申請））

②審査（10月15～18、23日）於 日本生産性本部（東京都千代田区）

申請組織トップに対し、2～3時間インタビューを実施

③認証決定 経営デザイン認証委員会（11月7日） 於 日本工業倶楽部（東京都千代田区）

(3) 認証区分

①スタートアップ認証 【これからの経営設計図】（A3 1枚）

1）「ありたい姿（目標と達成時期）」、2）「現在の環境認識（競争関係、顧客・市場、独自性）」、3）「実現にむけた変革課題」の3項目を組織的に明確にされているのか評価。自組織の人たちが合意・納得している状況をトップインタビューで確認し、自社の経営設計図の精度を高めるアドバイスを得る。

②ランクアップ認証 【これからの経営設計図】（A4 10枚およびA3 1枚）

上記3項目を鮮明にするとともに、ありたい姿の達成に結びつく①「業績」、②「社員満足」、③「顧客満足」の3つの成果や指標・目標が明確にされているのかを評価する。「ありたい姿」に向けたアクションプランをトップインタビューで確認し、自社の経営設計図をどのように具体的に進めることができるのかアドバイスを得る。

(4) 認証期間

3年間（2019年11月7日～2022年11月6日）

<これまでの「経営デザイン認証」組織>

（認証種別 上位認証（ランクアップ認証）：〔R〕、認証（スタートアップ認証）：〔S〕）

(1) 第1回（2018年度）9組織

- ・株式会社アイ・ステージ（愛知県 損害保険代理店）〔R〕
- ・株式会社エイコー（大阪府・東京都 事務用機械器具卸）〔R〕
- ・株式会社セキュリティリサイクル研究所（東京都・新潟県 倉庫・文書管理）〔R〕
- ・社会福祉法人千鳥福祉会（島根県 知的障害者福祉）〔R〕
- ・株式会社特発三協製作所（兵庫県 金属製スプリング製造）〔R〕
- ・ネットヨタ富山株式会社（富山県 自動車小売）〔R〕
- ・株式会社ファブエース（神奈川県 金属加工機械卸売業）〔S〕
- ・楽天コミュニケーションズ株式会社（東京都 電気通信）〔R〕
- ・株式会社流機エンジニアリング（東京都 化学機械・装置製造）〔R〕

※認証組織 認証クラス・拠点別分類 (2018年度から2年間)

区分	都市圏	地方	計(累計)
ランクアップ認証	20	5	25
スタートアップ認証	3	4	7
計(延べ認証数・累計)	23	9	32

※ここでいう都市圏は関東大都市圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)、中京大都市圏(愛知)、近畿大都市圏(大阪、京都、兵庫)を指す。

※認証組織 認証クラス・組織別分類 (2018年度から2年間)

区分	企業 (300人~)	企業 (~300人)	NPO	計(累計)
ランクアップ認証	4	18	3	25
スタートアップ認証	0	4	3	7
計(延べ認証数・累計)	4	22	6	32

※NPOはいずれも社会福祉法人

※認証組織 認証クラス・業種別分類 (2018年度から2年間)

区分	製造業	非製造業	計(累計)
ランクアップ認証	5	20	25
スタートアップ認証	0	7	7
計(延べ認証数・累計)	5	27	32

以上